関西岩手県人会報

イーハトーブ

37

2018.06

発行代表者：鎌田 龍児　　編集代表者：深田 稔　　印刷：奥野印刷

関西岩手県人会　〒530-0001　大阪市北区梅田1-3-1-900　大阪駅前第１ビル９F　岩手県大阪事務所内
【TEL&FAX】　06-6344-5969　　【ホームページ】　http://www.iwate-kansai.com/

震災関連手記
鎌田龍児会長

東日本大震災"3.11"を忘れない！

～大阪・法善寺での追悼法要に参列して～

東日本大震災７年目の3月11日、大阪市中央区難波の法善寺で犠牲者を慰める法要が行われ、平野良夫副会長と二人で参列した。

法要は午後2時半から行われ、読経が流れる中参列者が次々に焼香し手を合わせた。

境内では宮城県人会が募金活動を行っていたが、佐藤勝会長以下多くの人たちが募金の手を休めて法要に参列した。そして地震が発生した午後2時46分、全員で黙とうを捧げ犠牲者の霊を慰めるとともに、被災地の一日も早い復興を祈った。

当日は各地で様々な形の慰霊祭が行われるが、関西岩手県人会は当初から法善寺での法要に参列してきた。これは震災直後、街頭募金をする場所に困っていた当会に、神田眞晃住職から「境内を自由に使って下さい」という、大変ありがたいお言葉をいただいたのをご縁にずっと続いてきている。

神田住職ご自身も、宗門の若い僧侶を引率して陸前高田市をはじめ被災地に入り、被災住民の心のケアに取り組んで来られた。

岩手日報によると、岩手で仮設住宅暮らしを続けている人がいまだに7,758人に上るという。これは地元自治体による宅地造成が遅れていること、災害公営住宅の完成が遅れていることの他に、自宅を再建する資金の目途がつかないなど様々な要因があるためだが、いつの日か狭い仮設住宅を抜け出したいという「一縷の望み」を胸に不自由な生活に耐えて頑張っている。

被災した沿岸各自治体では、市街地のかさ上げ工事が終わり新しく住宅なども建ち始めているが、一方で大きな更地も目に付く。私たちはこうした実情にしっかり目を向け、記憶していかなければならないと思う。

今年は街頭募金を行わなかったが、宮城県人会の人たちが頑張っているのをみて少し眩しかった。何よりも若い人たちが多く参加していて大変美ましかった。

当会としても「いわての学び希望基金」への協力をはじめ、3.11を風化させない取り組みを今後とも続けていかなければならないと改めて感じた。

岩手からの報告
多賀谷眞吾　氏

震災チャリティー写真展開催

～収益の1/２を「岩手の学び希望基金」へ寄付～

東日本大震災チャリティ写真展・「いわての四季彩々」が、花巻市東和町の図書館にある「喫茶ラウンジ」で、3月1日から4月30日まで開催された。写真集や展示品の販売収益の半分を「いわての学び希望基金」にご寄付とのことである。以下は多賀谷真吾氏の近況報告である。

*（事務局）

～岩手から
関西岩手県人会の皆さんへ～

関西岩手県人会の皆様、岩手から関西の皆様にご挨拶とお礼を申し上げます。

写真展は3月1日から始まり、小さい喫茶店ギャラリーながら盛況です。4月15日のトークショー＆アルバコンサートも満員御礼となりました。

現在、陸前高田から北上し、震災7年後の被災地域の記録写真を撮影して現地を見て回り、その報告を4月15日のトークショーで話します。

取材は野田村まで終了し

ており、後残すところ久慈市と洋野町です。花巻からこの地域は大変遠く、通いなれた岩手といえど、自宅から400キロ近いので日帰りではなかなか取材が進みません。

さて今年ならではのポイントは3点あります。

①JR山田線の建設が進み、大槌町や山田町の駅舎、跨線橋の建設が本格化し、いつでも電車が走ってきそうである、という感触です。

②従来から整備が完了していた、宮古市田老の震災遺構、たろう観光ホテル跡に加え、田野畑村の鳥越駅、明戸海岸も遺構となったこと。

③各地の嵩上げ作業も進んで住宅地が整備され、さらに児童、生徒たちの球技場ができて、子供たちの歓声が聞こえてくるようになった。

以上が取材を通して感じたことです。今後も取材を続けます。

最後になりますが、昨年度から岩手医科大学の矢巾キャンパスで薬学部の学生さんに薬学英語を教えていますが、来月から新たに岩手県立大学にて観光英語を担当します。授業を通して、岩手の魅力を海外に発信できるような力を学生につけてもらおうと思います。

以上、近況とお礼まで。岩手ではマンサクが咲いて、バッケもおがって、わらすっこたちがバッケ採りに励んでいます。

「雪とけて　村いっぱいの　子供かな（小林一茶）」

今後ともよろしくお願い致します。

（2018年3月25日受領）

岩手県大阪事務所　新メンバーを迎えスタート

4月1日着任　高木章浩次長　＆　豊岡広伸主査

岩手県大阪事務所では、定期人事異動により福田晃（次長）と高橋晃進（主査）が岩手に戻り、後任として標記の2名が4月1日付で着任しました。

高木は盛岡市出身。これまで総務部、商工労働観光部を中心に、総合防災室、管財課、企業立地推進課等で勤務。当所では、全体の統括とアンテナショップの管理運営等を担当。名古屋に続き２回目の県外勤務となります。

豊岡も盛岡市出身。広聴広報課、統計調査課、沿岸広域振興局で勤務。当所では企業誘致、物産関係等を主に担当。岩手を離れ県外での生活は初めてのことで、大きな期待と希望に胸を膨らませています。

なお、古澤聖子は「主事」から「主任」に昇進、引き続き観光、物産展を担当します。

当所は1965年（昭和10年）の開設以来、関西地区における商工観光分野の情報、サービスの拠点としてその役割を担ってきました。今年度はアンテナショップの運営、観光ＰＲ、企業誘致の３点を業務の柱として重点的に取り組んで参ります。

東日本大震災後７年が経過し、被災地の復興も着実に進んでいますが、一方では震災記憶の風化等の課題もあります。平成31年には「三陸防災復興博（仮称）」や「ラグビーワールドカップ2019（釜石会場）」が開催されることから、これらに連動した情報発信強化など、復興のサポートを継続します。今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。（次長　高木章浩記）

福田次長および高橋主査の新天地でのご活躍をお祈りいたします。（事務局）

福田　晃次長　→
岩手県立産業技術短期大学（矢巾キャンパス）
事務局次長

高橋晃進主査　→
釜石市ラグビーワールドカップ2019推進本部
事務局副主幹

平成30年度・やもめの会
（3県人会・横断組織）

神戸ハーバーランド温泉・万葉倶楽部
平成30年度　第1回総会・懇親会　2018年3月11日（日）

設立1周年の行事は神戸で開催、3県人会より25名が参加した（岩手6名、青森10名、秋田9名）。AM11時にJR神戸駅に集合し、すぐ目の前のビル9階フロントにて受付を済ませ、7階の宴会場を確認した後11階の大浴場で各自温泉を楽しんだ。

12時30分よりの総会では、1年間の歩みを保坂勇光副会長（秋田）が振り返り、次いで懇親会に移ったが、冒頭に小宮山さき子会長（青森）から、「今日は東日本大震災の7周年にあたるので黙祷します」との提案があり、全員がしばし犠牲者のご冥福をお祈りした。

乾杯は松坂定徳氏（本県人会顧問）が指名され音頭をとられたが、「陸前高田市出身で被災者」である立場から「黙祷」の機会を作ってくれたことに感謝の言葉を述べられた。

お風呂あがりで気持ちよく酔った3県人会の皆さん

宴会場はイス席で広くゆったりしておりカラオケも完備していた。のど自慢の皆さんがそれぞれふるさと出身歌手の歌を披露し、最後は「青い山脈」を歌いながら、全員が手を繋いで輪になり懇親会場を一周して大いに盛り上がった。

最後に溝井まさ副会長（本県人会）が中締めの挨拶をされ無事閉会した。今回から赤い紐のついた名札が用意されており、お互いの顔と名前が分かるように配慮されていた。（事務局Ｆ記）

選抜8強
花巻東・感動ありがとう！

準々決勝進出　春の甲子園
～ 2018年3月26日、3月31日、4月1日～

宿泊先（チサン日神戸）での激励会から４日後(3/26)、強力打線の古豪東邦（愛知２年ぶり29回目）と戦った花巻東(6年ぶり3回目)は、終盤追い上げられるも、先制・中押し・ダメ押しの理想的展開で快勝（5-3）。県勢としては3年連続の初戦突破となった。

３回戦(3/31)は彦根藩校を前身とする文武両道の彦根東(9年ぶり４回目)。9回までノーヒットと苦戦を強いられたが、延長10回、この試合唯一のヒット2本と犠牲フライでサヨナラ勝ち(1-0)。僅か６球で自校の先発投手を交替した佐々木監督の采配が光った一戦でもあった。

翌日の準々決勝、前年度優勝の地元・大阪桐蔭(4年連続10回目)戦は初回の攻防が全て。互いにヒット３本だが、チグハグな攻めで無得点の花巻に対し、桐蔭は

激励会　チサンホテル神戸(3月22日)

花巻東高校応援（対彦根東高校戦）

守備のミスへの付け込みもあり４得点。終わってみれば0-19の完敗で、残念ながら県勢として最大得点差の試合となった。

今回の甲子園は応援も心に残った。先ず試合前のエール交換には高校生らしい清々しさを覚えた。また相手側の統率のとれた大応援、中でも井伊家の赤備えをスクールカラーにした彦根東の“真っ赤”なアルプス席からの地鳴りの如き声援や、“真っ白”なウエアの桐蔭スタンドから繰り出される多彩な曲目には少なからず感動した。

連日球場に足をお運び頂いた会員の皆様に改めて感謝申し上げますと共に、夏の甲子園も宜しくお願い致します。（事務局・H記）

お花見会リポート

満開の京都円山公園

2018年4月1日（日）快晴

これぞ春爛漫、満開の桜に囲まれて標記場所でお花見会が催されました。例年４月の第1日曜日、関西岩手県人会・京都岩手県人会・関西奥州会合同のお花見会が開かれています。

今年は、幹事の佐藤耕吉さんが、朝5：30から場所取りと会場設営をしてくださり、円山公園の奥の小高い丘に37人が集いました。時折頭上を花吹雪が舞い、また花の蜜を求めるミツバチも飛び回る中、お弁当とお酒やお茶、差し入れのお料理やお菓子もいただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

周囲を桜に囲まれた絶好のロケーションの高台で

参加者が１人ずつ立って、自己紹介やひとことコメントをする中で、今年初参加の小原三世子さんのスピーチが皆さんから拍手喝采を受けました。小原さんは、40年前フランスに渡り、フランス人のアランさんと知り合い結婚、昨年アランさんが退職したのを機に以後の過ごし方を相談。その結果、１年をフランスと日本で半分ずつ暮らすことに決めたそうです。日本ならどこに住みたいかとの問いに、アランさんは京都に住みたいと答えられ、昨年夏から京都にお住まいとのことでした。

酔いが回ってやっとの思いで整列した面々

朝散歩に出たアランさんが帰ってきて言うには、「京都に急にホームレスが増えたみたいだ。みんな地べたに座って、ごはんを食べていたよ」と。それを聞いた三世子さん、「ハハーン、分かった。私たちもホームレスしに行きましょう」と言ってここに来ました、とのこと。アランさん、日本のお花見体験はどんな印象だったのでしょう？（小原さんは和賀さん、鈴木綾子さんと高校の同級生）。

ご夫婦で参加された方が他にも何組かおられ、ある奥様から＜岩手県人は真面目だけれど面白味がなく、ギャグが分からない＞などのコメントがあり、岩手出身の者たちは思わず胸に手を当てて、はて自分はどうだろうと考えたことでした。岩手県といっても県北・中央・県南・沿岸部・山間部といろいろと違いがあり、皆さんそれぞれの人生のもと関西に住み、この日1日京都に集いにぎやかに過ごすことができました。（千葉たみ子・関西奥州会事務局長）

岩手県大阪事務所 離任ご挨拶 ①

岩手のＰＲ隊としての2年間

次長　福田　晃（現・岩手県産業技術短期大学校　事務局次長）

岩手県大阪事務所在勤中は、鎌田会長をはじめ役員および会員の皆様には大変お世話になり、改めて御礼申し上げます。

大阪事務所で勤務した2年間、高橋と古澤の3名で、岩手の観光、物産、販路拡大、企業誘致など、「岩手のPR隊」として取り組んできました。その中で一番の思い出といえば、「青森・岩手えぇもんショップ」の開設です。

平成28年4月、大阪事務所に赴任して再重要課題が3か月でアンテナショップ（ＡＳ）をオープンすることでした。ＡＳの運営はもとより商工分野の経験が少ない自分にとって、非常に厳しい3か月でしたが、7月5日に青森・岩手両県知事出席のもと、「青森・岩手えぇもんショップ」がグランドオープンした時は、非常に感慨深いものがありました。

「青森・岩手えぇもんショップ」は大阪・梅田でふるさと岩手の特産品や工芸品を数多く取り揃えている物産館です。創業2周年を迎える7月上旬には、「創業大感謝祭」が開催されるはずですので、親戚や知人など誘い合わせのうえ、是非ご利用いただくようお願い申し上げます。

関西岩手県人会の皆様との一番の思い出といえば、高校野球、高校ラグビーなど全国大会の激励会と応援です。特に、高校野球は岩手県代表校の活躍が目覚ましいものがありました。

盛岡大附高の2016年夏の16強と2017年春・夏の連続8強進出。花巻東高の2018年春8強。2017年春には岩手県勢初となる盛岡大附高・不来方高の2校出場、更には不来方高生徒による開会式の国歌斉唱と、県人会皆様と一緒に応援した当時の感動が昨日のように思いだされます。

岩手県立産業技術短期大学校にて

大阪勤務は2年間でしたが、大阪での出会いや体験は初めてで新鮮なものだったので、４～５年生活していた感があり、この貴重な経験を残り少ない県職員生活に活かしていきたいと思っています。

最後に、現在矢巾町にある岩手県立産業技術短期大学校に勤務していますので、岩手にお越しの際は、ご連絡をお待ちしています。（2018年5月11日受領）

岩手県大阪事務所 離任ご挨拶 ②

関西および京都岩手県人会の皆さんへ

主査　高橋晃進（現・ラグビーワールドカップ2019推進本部　事務局副主幹）

3月まで岩手県大阪事務所でお世話になりました高橋晃進でございます。

関西岩手県人会々員の皆様及び京都岩手県人会々員の皆様におかれましては、大阪事務所在任中たいへんお世話になり、誠にありがとうございました。

本来であれば、皆様の下に伺い離任のご挨拶を致すべきところ、本紙面上にて失礼させていただくことをご容赦ください。

私は、大阪事務所に平成27年4月から3年間在籍させていただきました。岩手県を離れて生活するのは初めてで、さらには大都会・大阪梅田で勤務したことは、これまでの価値観が大きく変わる程の経験でした。

大阪事務所では企業誘致、アンテナショップ「青森・岩手えぇもんショップ」の立上げと運営、岩手県の物産や食財のＰＲ、震災復興支援イベントなどの業務を担当し、関西の多くの方々と一緒に事業を進める中で、岩手のみで活動しているだけでは得ることのできない貴重な経験をさせていただきました。

プライベートでは、大阪・京都・奈良などの観光名所を見学し、また、関西で知り合った知人からの紹介で西国三十三所観音巡礼と新・西国三十三所観音巡礼を満願するなど、関西を満喫することができました。

私は、この3月31日付で岩手県庁の割愛人事により県

庁を一旦退職し、4月1日付けで釜石市役所に採用されました。釜石市での配属先は「ラグビーワールドカップ2019推進本部事務局」です。

アジアで初めて開催される「ラグビーワールドカップ2019™」の岩手県・釜石市会場の準備作業を担当しており、釜石で初めて開催される世界大会の成功に向けてチャレンジを続けている毎日です。

このラグビーワールドカップ2019™は、東日本大震災津波の被災地では、岩手県・釜石市のみで開催されるものであり、復興のためご支援を頂いた国内の方々はもとより、世界中の方々に対する御礼をはじめ、三陸の復興状況を発信する絶好の機会でありますので、その重責に身の引き締まる思いです。

今後とも「ふるさと・いわて」の発展のため尽力させていただく所存でございますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「伝説はまた、ここから始まる。・・・ラグビーのまち、かまいし」（2018年5月6日受領）

会員近況
お花見会返信ハガキ抜粋（挨拶文省略）

緒方千穂子：その日はおそらく盛岡市に帰省を兼ねた取材旅行に出ています。次の機会に参加したく存じます。

熊谷克己：当日はイースター（復活祭）のため教会に参ります。お花見会への不参加はとても残念です。

長山幸悦：「往きは酔い酔い、帰りは恐い」。ちょっと迷っていますので今回は回避させていただきます。

小野寺康公：当日用事ができて出席できません。

植田細布子：今年の芥川賞、直木賞が岩手県に関係する人達でうれしいです。

新田陸夫：もうすぐ79歳になりますが、スポーツを中心に楽しみながら元気に暮らしております。

高木　浩：卓球に週2回、町会の卓球部で汗!!みどろ。

八幡勝栄：閑なようで閑でない毎日です。

千葉　本：今年の花見も都合がつかず、参加できません。

池田希和夫：元気にしていますが当日は別件にて不参加です。

鳴海賢三：昨年は2回盛岡に叔母の見舞いに行きました。桜の季節になると盛岡公園・八幡宮あたりも美しいでしょうね。円山公園の桜を楽しんでください。

小山文男：4月1日は静岡に行く予定があり欠席です。昨年はギックリ腰を2回もやりました。医者に行けば「加齢だね」と言われ、本当に年は取りたくないです。今年は静かに静かに生きていきたいと思っています。

高橋弘美：当日は、私が会長を務める「石鳥谷町人会」の花見を隅田川で開催する関係で残念ながら欠席です。

菊池憲司：釜山市（韓国）の近郊、鎮海市（チネ市、桜が36万本ある）へ毎年花見に行きますので、すいませんが欠席です。

菊池將人：大学行事（入学式）打ち合わせなど、担当業務につき申し訳ありませんが欠席します。今年度で一線を脱しますのでもうしばらくご容赦ください。

吉田正夫：写真クラブの予定が入っていますので、残念ながら欠席とさせていただきます。

菅原文雄：返事が遅れてすみません。健康がすぐれず欠席致します。

那須川義明：すみません、体調不良のため欠席です。誠に申訳ありません。年に一度はお会いしたいと思っておりましたが残念です。

高橋清紀：帯状疱疹（ヘルペス）後の神経痛で酒の呑めない状態が続いています。

後藤善郎：体調不良につき休養中です。

後藤ツヤ・統一：99歳になる母（ツヤ）が療養中ですが元気です。

（菅原文雄様、那須川義明様、高橋清紀様、後藤善郎様、後藤ツヤ様の一日も早いご快復をお祈りします。事務局）

事務局掲示板

＜会員紹介　ご入会ありがとうございます＞

2018年2月　緒方千穂子（山田町、現西宮市）
2018年2月　横手　辰美（雫石町、現生駒市）
2018年4月　高木　章浩（盛岡市、職域幹事）

＜行事予定＞

2018年7月22日（日）3県合同納涼ビアパーティ
（スーパードライ梅田、12時より）
2018年7月31日～8月31日　南部風鈴を愛でる会
（京都・清水寺）
2018年8月5日開幕、夏の甲子園（高校野球選手権大会）

編集後記

今号は震災関連で鎌田会長の手記と岩手で活躍する多賀谷真吾さんからの近況報告を掲載させて戴きました。

今冬は厳しい寒さで、桜の開花が遅れるとの大方の予想を裏切り、4月の第1日曜（4/1）の京都は満開でした。

来年の第1日曜は1月7日ですが、今から気を揉むのは止めておきます。

岩手県大阪事務所の人事異動がありました。新任の高木次長と豊岡主査には、今後いろいろお世話になります。

転勤の忙しい中、福田氏と高橋氏にはご無理を言って原稿をお願いしました。謹んで御礼申し上げます。（深田記）